

東海地域大学男女ソフトボール選手権大会 兼・全日本大学ソフトボール選手権大会東海地区最終予選会

新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドライン

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症拡大についてはなかなか終息しない中、ソフトボールの活動にも多大な影響が出ています。1日でも早く通常の活動が出来るように願っています。

本ガイドラインに基づき感染拡大予防に向け務めたいと考えています。

2 共通留意事項

- (1) 三つの密(密閉、密集、密接)の発生が原則想定されないこと。(人と人との間隔はできるだけ2mを目安に)
- (2) 大声での発生、歌唱や声援、又は近接した距離での会話等が原則想定されないこと。
- (3) 発熱、咳、倦怠感、咽頭痛などの症状がある生徒、その他の大会関係者は参加を見合わせる
- (4) 大会前、又は大会中に選手、その他の大会関係者に新型コロナウイルス感染が確認された場合は東海ソフトボール協会、保健所等の指示に従う。
- (5) **大会を開催するにあたり、監督会議、開会式、は実施しない。**
- (6) 各種会議など室内で実施する場合は、こまめな換気をし会場への入退室時の消毒を徹底する。
※事務連絡などがある場合は、事前に参加チーム連絡責任者にメール等で周知する。
- (7) 参加者全員に対して、本ガイドラインの周知徹底を図る。
- (8) 大会中参加者(選手・チーム関係者・大会役員)に感染の疑いが出た場合は直ちに大会本部に連絡し、帰宅させる等の適切な処置を講ずる。
- (9) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策のため、東海大学連作成の別紙「連絡先および健康状態申告のお願い」およびチーム関係者、その他の大会関係者は「健康状態申告書」の提出をお願いする。(日毎に提出する)
なお、提出された個人情報の取り扱いには十分配慮する。

3 大会運営に係わる留意事項

- (1) マスク着用の徹底。(プレー中の選手・審判員は例外)
- (2) 入場の際に消毒液での手洗いを徹底する。(各所に消毒液を設置)
- (3) 球場の各諸室(トイレ・更衣室を含む)は、ハンドソープの設置及び換気のため密閉を避ける。
- (4) 会場への移動は、原則バスや車移動とし車内の換気を徹底する。
- (5) タオル・ペットボトル・コップ等の共用は避ける。
- (6) 鼻水、唾液などがついたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人はマスクや手袋をし、外した後は必ず手指消毒をする。
- (7) 参加当日の朝に体調不良(発熱、倦怠感など)である関係者は、来場を禁止する。
- (8) 使用した用具や施設の消毒の実施。
- (9) その他、大学連コロナ感染症対策ガイドラインに準ずる。

4 競技上における「コロナウイルス感染防止対策」(練習含む)の留意点

- (1) 試合前に行う審判と監督との最終確認は十分な距離2m(最低1m)確保する。握手もしない。
- (2) 試合開始時、終了時の礼は、球審の「集合準備」の合図で両チームベンチ前に間隔を空け整列しその場で「礼」して行う。試合終了時も同様の形態とする。
- (3) 試合中のベンチ内、コーチアズボックス内はできるだけマスク着用とし、特にベンチ内での選手間の距離は、できるだけ2m(最低1m)確保する。
また、試合終了後は、各チームで使用したベンチ等の消毒を設置された消毒液で行う。
- (4) バット、ヘルメット、グローブ、ロジンなどは各選手が使用し、可能な限り他の選手との共用を回避するように努め、共用せざるを得ない物については、こまめに消毒を行う。
- (5) 唾を吐く行為を禁止する。
- (6) 選手、特に投手は指を舐めてはいけない。
- (7) 握手、ハイタッチ、ハグなどの身体的接触を避ける。
- (8) 球審はマスクを着用する。(体調により義務ではない)
- (9) タオル・ペットボトル・コップ等の共用は避ける。
- (10) チームベンチ、球場本部、大会本部等、人が集まりやすい場所に消毒液を設置する。
- (11) ベンチ内から声援や指示を出す場合は、対人距離に注意する。
- (12) 球審は捕手に触れてはいけない。

5 観戦者の留意事項

- (1) 観戦者に発熱、咳、倦怠感、咽頭痛などの症状が見られる場合には観戦を遠慮してもらう。
(HP等で事前告知)
- (2) 球場(会場)への入口等に消毒液を設置しこまめな手洗い・消毒を行う。
- (3) 球場への入場制限については、「施設管理者利用制限」に従い実施する(収容人員50%)
また、観戦者にマスク着用及び間隔(1席開ける)を開けるよう呼びかけを行う。
- (4) 応援方法については、以下の行為を禁止する。
 - ① 動きのある応援はしない。(接触感染リスク)
 - ② 楽器・メガホン・スティックバルーン等での鳴り物応援。(飛沫感染リスク)
 - ③ 大声を出しての応援。(飛沫感染リスク)
 - ④ フラッグや応援タオルを振り回す応援。(飛沫、接触感染リスク)
 - ⑤ 会場では選手や大会関係者との接触は極力控える。
 - ⑥ 全球場とも、観戦者が密にならないように「放送でのアナウンス」「掲示による周知」「巡回による声かけをする。